

# 重点戦略5 地域・環境戦略

◆めざすとちぎの将来像

未来に誇れる魅力に満ち、自然と共生する「とちぎ」

## 1 ふるさとの魅力創造プロジェクト

- ▶ とちぎ暮らし・しごと支援センターの機能強化
- ▶ 「とちぎメディア芸術祭（仮称）」の開催準備 など

## 2 スマートで暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

- ▶ 新モビリティによる奥日光地域へのアクセス強化
- ▶ 産学官連携によるDX推進プラットフォームの構築 など

## 3 次世代につなぐ環境立県プロジェクト

- ▶ 住宅のゼロエネルギー化などカーボンニュートラルの推進
- ▶ サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行 など



▲ 都内で開催した移住イベントの様子



▲ 日光市街と奥日光を結ぶいろは坂



▲ ペットボトルの水平リサイクルのイメージ

### 1 ふるさとの魅力創造プロジェクト

- ① 「選ばれるとちぎ」の実現に向けた移住・定住促進事業費 若者会議 1億3,716万円 (総合政策部)
- ▶ ◎移住イベントの充実を図るため、とちぎ暮らし・しごと支援センターにイベント企画運営相談員を新たに配置
  - ▶ ◎東京圏で暮らす本県出身の若者等を集めた交流会等を開催し、中長期的なUターンを促進
- ② 多業種との共創による農村の稼ぐ力向上事業費 1,810万円 (農政部)
- ▶ ◎多様な人材・企業等との連携による地域資源を活用した新ビジネスの創出を支援
    - ✓ 先進事例セミナーやスタートアップイベントの開催
    - ✓ 多業種の人材や企業からなるチーム結成からビジネスプラン策定までの伴走支援
- ③ 県庁舎周辺整備検討事業費 628万円 (総合政策部)
- ▶ 県庁前県有地の利活用に向け、民間活力の導入を検討  
〔R8年度〕栃木会館跡地の利活用を担う民間事業者の選定（アドバイザリー業務 等）
- ④ 県庁舎周辺道路整備調査費 5,000万円 (県土整備部)
- ▶ 県庁前県有地の利活用検討に合わせ、シンボルロードの整備に向けた調査を実施  
〔R8年度〕平面図化・路線測量、道路詳細設計
- 

◀ 県庁前の栃木会館跡地とシンボルロード
- ⑤ とちぎ次世代クリエイター支援事業費 1,016万円 (生活文化スポーツ部)  
(産業労働観光部)
- ▶ ◎メディア芸術の担い手育成を図るため、県内の若手クリエイターの活動に対して助成
  - ▶ ◎「とちぎメディア芸術祭（仮称）」のR9年度開催に向け、ウェブサイトを構築するほか、機運醸成のためのポスター・デザインコンテスト作品展を開催

### 1 ふるさとの魅力創造プロジェクト (続き)

#### ◎ ⑥ 日光杉並木街道次世代継承事業費

400万円 (生活文化スポーツ部)

- ▶ 次の100年に向けて日光杉並木の景観を着実に引き継いでいくため、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、後継木の計画的な補植等を実施  
〔R8年度〕補植地の選定等に向けた現地調査



◀ 日光杉並木植樹400年  
記念ロゴマーク

#### ○ ⑦ 「文化と知」の創造拠点整備推進事業費

6,966万円 (生活文化スポーツ部)

- ▶ 県立美術館・図書館・文書館について、本県文化振興の中核となる「文化と知」の創造拠点として一体的に整備  
〔R8年度〕PFIアドバイザリー業務、◎地質調査 等

#### ○ ⑧ とちぎスポーツの活用による地域活性化推進事業費

9,075万円 (生活文化スポーツ部)

- ▶ ◎武道ツーリズムの推進に向け、海外の旅行エージェントを対象とした招請ツアーを実施
- ▶ ◎県内の全プロスポーツチームと連携したスポーツフェスタを開催するとともに、PRキャンペーンを展開

#### ⑨ グリーンスタジアム整備費

2億2,850万円 (生活文化スポーツ部)

- ▶ 観戦環境・利便性の向上を図るため、屋外型LEDビジョンの新設や屋外トイレの改修などを実施

※R6年度に基金に積み立てた企業版ふるさと納税による寄附金を活用

ホンダヒート・グリーンスタジアム ▶



#### ○ ⑩ 地域クラブ活動推進事業費

1億7,824万円 (教育委員会事務局)

- ▶ 中学校部活動の地域展開に向け、休日の地域クラブ活動費に対して助成
- ▶ ◎市町・地域クラブと指導希望者をつなぐ人材マッチングシステムや、eラーニングによる指導者研修システムを構築

### 2 スマートで暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

#### ⑪ 奥日光地域アクセス新モビリティ導入検討事業費 2,633万円（県土整備部）

- ▶ 自然豊かな奥日光地域へのアクセス強化に向け、環境に配慮した新たなモビリティの導入を検討  
〔R8年度〕目指すべき姿や方向性などを定めた「奥日光交通ビジョン」の策定

#### ⑫ 広域公共交通連携検討事業費 2,000万円（県土整備部）

- ▶ LRTのJR宇都宮駅西側への延伸に合わせ、公共交通ネットワークの広域化に向けた基礎調査を実施

#### ⑬ 地域課題解決重点伴走支援事業費 2,079万円（総合政策部）

- ▶ 中山間地域等を有する市町が抱える地域課題の解決に向け、アドバイザー等による助言や伴走支援を実施

#### ⑭ わがまち創生・交流促進事業費 1億円（総合政策部）

- ▶ 住民・市町が主体となって取り組む地域づくりや市町の枠を超えた広域的な地域づくり活動に対して助成  
※これまでの補助制度を見直し、中山間地域等で実施する事業の補助率や広域連携事業の補助上限額を引き上げ

#### ⑮ とちぎDX推進体制強化事業費 8,311万円（総合政策部）（経営管理部）

- ▶ ◎県・市町と企業・大学等が連携し、デジタル技術による地域課題の解決に取り組むプラットフォームを構築
- ▶ ◎県・市町におけるDXの更なる推進に向け、専門家等による相談窓口の設置や伴走支援を実施

#### ⑯ 県庁共創オフィス・デジタル基盤整備事業費 9,990万円（経営管理部）

- ▶ 県職員の共創意識や生産性を高め、働きがいを向上させるための職場環境づくりを推進  
〔R8年度〕パイロットオフィス\*の設置・検証等 \*組織全体へ展開する前に特定の部署で試験的に導入する取組
- ▶ 産学官での共同作業の円滑化や業務の効率化を図るため、安全性を確保したデータ共有環境を構築  
〔R8年度〕試験導入に向けた設計・検証等

共創オフィスのイメージ▶



### 3 次世代につなぐ環境立県プロジェクト

#### ○ ⑯ カーボンニュートラル推進事業費

24億7,522万円 (環境森林部)

- ▶ ◎木質バイオマス熱利用の拡大に向け、導入施設のランニングコスト検証を実施
- ▶ ◎省エネ性能の高い住宅の普及促進を図るため、地域工務店によるZEH基準住宅の新築に対して助成

##### 物価高騰対策

- ▶ ◎子育て世帯等の負担軽減と暮らしの向上を図るため、新築・既存住宅の断熱化を行う場合に、国の補助制度に上乗せして助成
- ▶ 電気料金の高騰による県民の負担軽減に向け、自家消費のための太陽光発電設備・蓄電池の一体的な導入を支援

#### ○ ⑰ とちぎサーキュラーエコノミー移行推進事業費 (一部再掲)

4,124万円 (環境森林部)  
(産業労働観光部)

- ▶ 資源を効率的・循環的に利用することで環境負荷を抑えつつ経済成長を図る「サーキュラーエコノミー」への移行を推進
  - ✓ リサイクル業者と製造業者とのマッチング支援
  - ✓ 県内企業グループが取り組むビジネスモデルの構築に対する助成
  - ✓ プラスチック製品製造業者を対象としたワークショップ等の開催



#### ○ ⑱ 地域ぐるみの総合的な鳥獣対策促進事業費

3億8,222万円 (環境森林部)

- ▶ ◎ハンティングドローン\*を活用した先進的なイノシシ捕獲方法を導入
- ▶ クマ対策の強化に向け、◎高度な射撃技術を持ったハンターの養成研修を開催するとともに、市町によるパトロールやわな設置などの取組に対して助成

\*スピーカーや煙火を搭載し、猟犬の鳴き声等により野生鳥獣を威嚇・誘導する狩猟用ドローン

ハンティングドローン ▶

